

普及活動情勢報告（平成29年11月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

この地域の将来を考えよう！集落営農塾開催 ～上東地区営農組合の集落ビジョンを見直しました～



集落ビジョンを皆で見直し

10月31日、いの町上八川の柿藪公民館で上東地区営農組合役員を対象とした本年度2回目の集落営農塾（法人化推進）を開き、役員ら4人が参加しました。

今回は、農業改良普及課が進行役を務めワークショップを行い、平成21年度に作成した集落ビジョンを基に、今後の法人化を目指す中での削除や追加項目等の見直しを行いました。

農業改良普及課は、今後、見直した集落ビジョン（案）を役員と共有するとともに、次年度の総会で方針の提示を予定している法人化に係る資料作成を支援します。

農作業の軽減のために！ ～アシストスーツ導入にむけた説明会～



アシストスーツの使用説明

11月6日、農業改良普及課は、アシストスーツの使用説明会を開催し、関係機関が集まり、実際着用し、動きを確認しました。

管内でのアシストスーツの導入は、文旦や生姜の収穫期での使用が期待されており、今後、農家のほ場において、実際に動作確認を行い、実用性を検討していきます。アシストスーツを着用することで、荷下ろしや坂道での歩行を補助することができ、力が弱い女性等も大きな負担がなく農作業を行うことができ、はちきん農業大学の一環としての講座も予定しています。

今後、農業改良普及課では、アンケートを取り、実際に農作業の負担が軽減できるのか検討していきます。

加工用ワサビ栽培講習会 ～加工用ワサビの定植が始まります～



講習会風景

11月9日、いの町農業公社（吾北地区）において、JAコスモス吾北支所、農業改良普及課が主催で加工用ワサビの栽培講習会（生産者4人）を開催しました。

講習会では雨よけハウス栽培を中心に、追肥、灌水、温度管理について説明しました。質疑では、病虫害防除についての質問も多く、アブラムシ類の防除対策として、公社の育苗時とほ場において、薬剤散布の徹底を行うことになりました。

農業改良普及課は、引き続き月1回のペースで、目標収量に向けた巡回指導を行っていきます。

新規就農者等を対象とした青色申告等勉強会
～経営記帳など基本を学びました～



勉強会風景

11月14日、土佐合同庁舎において、土佐市担い手育成総合支援協議会幹事会が主催となり、新規就農者等を対象とした青色申告等の勉強会を開催し、5人の農業者が参加しました。

勉強会では、税務署職員を講師に、新規就農者等が農業経営状況を把握し、税務申告を行う事が出来る事を目的に、税務制度や青色申告の利点や申請等について学びました。参加者からは、「内容も多く、難しい」との声もありましたが、熱心に講師の説明を聞いていました。

農業改良普及課は、土佐市担い手育成総合支援協議会を通じて、今後も継続して勉強会を開催し、就農初期からの経営安定を図っていきます。